

教科	科目名	単位数	開講年次	学期	分類
演劇	演劇	2	2・3年次	前・後期	自由選択
科目の目標	総合芸術としての演劇を学び、劇作りの過程で個人及び集団による創作を体験し、芸術的感性を養う。				
評価の観点	a. 関心・意欲・態度	b. 芸術的な感受や表現の工夫	c. 創造的な表現の技能	d. 鑑賞の能力	
観点の趣旨	・心・声・身体に関心を持ち、それらを一体化した表現を体得しようとする。 ・作品の中で独自の役割を果たそうとする。	・身体や声を自由に使って、芸術的な表現の工夫ができる。	・創造的な表現をするために、自らの身体及びさまざまな材料を活用する技能を身につけている。	・プロ及び他生徒の作品を深く味わう鑑賞能力を身につけている。	

指導と評価の計画

時間	単 元	学 習 項 目	評 価 規 準	評価の観点				評価方法
				a	b	c	d	
前 期	基礎知識の 学習	舞台用語を知る	・舞台用語を身につけることができる。			○		プリント
		演劇の種類を知る	・さまざまな演劇の中から、興味・関心のあるジャンルを選び取ろうとする。	○				鑑賞文
	基礎訓練	自分を伝える 呼吸と発声 身体感覚トレーニング タブローづくり マイム	・演劇に必要な基礎的技能を身につけることができる。				○	授業観察
		朗読	朗読練習 発表	・滑舌・発声などに配慮しつつ作品を読むことができる。			○	
	・声を使った情感を込めた表現ができる。				○			発表
	・他生徒の朗読を鑑賞し、適切な批評ができる。						○	鑑賞文
	さまざまな 役・場面を 演じる	グループによる練習	・他の生徒と連携しつつ、多彩な表現ができる。				○	授業観察
	既成脚本の 場面上演	場面選定 練習 発表	・他の生徒と連携しつつ、総合的な表現力を発揮できる。				○	授業観察 発表
			・役柄を的確に演じられる。		○			授業観察
			・場面の構成力が身に付いている。				○	授業観察
			・他グループの演技を鑑賞し、適切な批評ができる。					○
後 期	エチュード レッスン	即興的な場面作り	・状況に応じた即興的な演技ができる。				○	授業観察
			・他の生徒と連携した演技をしようとする。	○				授業観察
			・他の生徒またはグループの演技を鑑賞し、適切な批評ができる。					○
	創作劇の方 法論	創作劇の方法を知 る	・創作劇の方法を身につけることができる。				○	プリント
			・計画書を書くことができる。					○
	創作劇	脚本作り 練習 リハーサル 上演 振り返り	・創造性を発揮し、脚本作りを積極的に行うことができる。		○			脚本
			・役柄に応じた演技ができる。			○		授業観察 発表
			・場面構成を的確に行うことができる。				○	授業観察
			・他のグループの上演作品を鑑賞し、適切な批評ができる。					○